

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.183

環境保全課 ☎ (29) 5100

2050年カーボンニュートラル実現に向けて

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量をできるだけ削減し、削減できなかったものは吸収または除去することで温室効果ガスの排出量を実質プラスマイナスゼロにすることを指します。このカーボンニュートラルを実現した社会を脱炭素社会と呼び、現在世界各国で対策が講じられています。

日本でも2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルを政策として掲げており、脱炭素社会の実現に向けての取り組みが始まっています。

温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を可能な限り削減し、深刻な温暖



私たちにもできる脱炭素社会実現への取り組みを始めてみましょう

化にブレーキをかけることは必要不可欠なことです。

日本の温室効果ガスの約6割は日々の消費活動で発生しています。温室効果ガスの排出をゼロにすることはできませんが、減らすことは可能です。例えば食品ロスをなくす、電気の使用量などなるべく抑える生活を実践するなど、脱炭素社会への実現につながります。

カーボンニュートラルは、企業や政府など大きな組織が取り組むイメージがあるかもしれませんが、私たちの日常でも取り組めることはあります。少しずつ自分にできることを探して、脱炭素社会に向けて取り組んでいきたいと思います！

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして！

環境事業課 ☎ (31) 5304

環境事業所 ☎ (31) 7710

総合支所

台風などの強風時のごみの収集・出し方

8月から9月は台風の上陸が多い月です。強風時のごみ収集とごみの出し方について、ご協力をお願いします。

●ごみ収集について

収集車両や作業員に危険が予想される場合のほか、道路の通行止めなどが無い限り、通常どおり収集を行います。

※平常時より収集時間が遅れることがあります

●ごみの出し方について

集積場所に出したごみが強風によって散乱した場合、近所の迷惑になるほか交通状況に支障が出る場合があります。ネットなどで散乱防止の対策をするか、可能な限り次の収集日に出してください。

ちょっと
聞いて



雨天時の資源品の出し方

新聞紙類・雑がみ類・紙パック・段ボールは、雨で濡れると収集が困難になります。濡れないように中身の見えるビニール袋に入れるか、次の収集日に出してください。



強風で道路にごみが散乱した様子